

給食だより

令和7年5月号
千代田町学校給食センター
おうちのひととよんでね

今月の給食目標
食事のマナーを
身に付けよう

毎月19日は
「いただきます」の日



6月に食べたいメニューを教えてください!!

今の小学2年生～中学3年生のみなさんには、昨年度の終わりに食べ物アンケートをおこないました。そこから、皆さんがどんな食べ物が苦手かを知ることができました。そこで、皆さんが苦手な食べ物に少しでもチャレンジできるように、6月から2種類のうちのどちらの料理だったら食べられるかのアンケートを行いたいと思います。

6月はセロリを使ったメニューにチャレンジしてもらいます。2つのメニューのうち、どちらのメニューだったら食べられるか考えて選んでください。多く選ばれた方を、6月の給食でだそうと思います。どちらの料理がでるか、6月の献立表で発表します。どうぞお楽しみに!!

セレクトメニュー参加のしかた

- ① 下のQRコードを読み込み、アンケートフォームを開きます。
- ② 2つのメニューが載っているのので、食べたい方を一つ選び、送信をおします。



お願い

- ・回答は、ひとり一回でおねがいします。
- ・5月11日(日)までに回答してください。



白衣について考えよう

～みんなが安全に気持ちよく食べるために～

ご家庭での洗濯やアイロンかけなど、清潔な白衣の準備にいつも協力いただきありがとうございます。子どもたちは白衣を着て当番活動をすることで、「衛生と安全に注意することの大切さ」を学んでいきます。



トイレは白衣に着替える前にすませておきましょう。手はせっけんを使っていねいに洗い、清潔なハンカチできちんとふきとりましょう。



白衣の取り扱いに気をつけます。床の上でたたんだり、汚れた場所に白衣袋を置いたりしてはいけません。

給食当番さんには、クラスのみんなに安全に給食を届けるという大きな責任があります。その自覚をきちんともちましょう。ふざけたり、不衛生なことをしたりしてはいけません。

NG



給食当番さんが白い白衣を着るのは汚れがすぐにわかるようにする目的もあります。食べ物を扱うときは、清潔な身なりや態度をいつも心がけていたいですね。



「目には青葉 山ほととぎす 初がつお」。江戸時代に活躍した俳人、山口素堂の有名な句です。目で、耳で、そして舌で感じる初夏の喜びが表現されていますね。

さわやかな新緑の季節、五感を使ってこの季節ならではの美しさや素晴らしさを感じ、ますます豊かで健やかな学校生活を送りましょう。

四季を楽しむ行事食～端午の節句～

5月5日は「端午の節句」です。こいのぼりを立てたり、兜(かぶと)や鎧(よろい)を飾ったりします。また、行事食のちまきやかしわもちを食べてお祝いします。これらの飾り物や食べ物には、子どもたちの健康や未来への願いが込められています。給食では行事食のほか、旬の食材をたくさん使った献立を味わいます。楽しみにしててください。

かしわもち



あん入りのもちを柏の葉で包んだものです。柏は新しい葉が出るまで古い葉が落ちないことから、「跡継ぎが絶えない」として縁起物とされました。

ちまき



もち米を笹の葉などで包み、蒸して作ります。中国の故事にならった風習として、日本でも端午の節句によく食べられます。

たけのこ



天を貫くように真っ直ぐに伸び、成長も早いことから、子どもたちがすくすく元気に育つようにと願いを込めて食べられます。

かつお



名前を「勝つ男」と読み替え、困難なことに打ち勝ちながら、たくましい人に育ってほしいという願いを込めて食べられます。

こいのぼり



鯉が激しい流れの滝を上りきると龍になるという伝説から、難関を突破し、立派な人になってほしいと願います。

かぶと・よろい



命を守る大事な武器です。災いや病気などから守ってくれるように、また武士のように勇ましく育ってほしいと願います。

しょうぶ湯



葉の形が剣に似ていることから、また武芸に精進することを表す「尚武」に通じることから、暑湯をお風呂に入れて無病息災を願います。